

平成30年度 全国保健所長会研修会

地域卒医学生等に対する取組について
～長崎県立保健所における学生実習の紹介～

平成31年1月28日

長崎県五島保健所 近藤 徹

長崎県の概要

1 長崎県と離島

長崎県は日本で一番島の多い県で、
有人島72を含む594の島がある。

(第58版長崎県統計年鑑より)



2 長崎県と離島医療の歴史

県、大学、地方自治体が一体となった離島医療の充実

- 昭和43年 離島医療圏組合設立
- 昭和45年 医学修学資金貸与制度創設
- 昭和47年 自治医科大学派遣
- 昭和59年 巡回診療船「しいぼると」建造
- 平成15年 「長崎県へき地医療支援機構」設置

へき地保健医療対策の第9次計画において、各都道府県に「へき地医療支援機構」を構築する具体策が策定されたことによる。機構設置にあたり、長崎県では離島が多いことから県独自の強化策が必要ということで

- 平成16年 「へき地医療支援機構推進事業」創設および
「長崎県離島・へき地医療支援センター」設置
- 平成16年5月 長崎大学に「離島・へき地医療学講座」開講

3 長崎大学医学部の地域医療人材育成

- 「離島・へき地医療学講座」開講と同時に離島での活動拠点として長崎県五島中央病院内に離島医療研究所を設置。
地域の保健・医療・福祉施設と連携しながら本格的な地域医療教育をスタート。
- 臨床実習の一環として1週間滞在型の地域医療実習を開始し、徐々にその規模とフィールドを拡大。
今ではほぼ長崎県の離島全域へと展開。
- 本実習では、歯学部生、薬学部生、保健学科生との共修に加えて他大学の医学生を受け入れており、既に受け入れた学生数は2,500名を超える。
- 平成24年7月には正規分野として地域医療学分野を大学院医歯薬学総合研究科に開講し、離島・へき地医療学講座と連携しながら、長崎県本土の地域中核病院において1週間の地域病院実習を開始。
- 学外の医療現場における実践教育を充実させるとともに、県内全域の臨床研修病院で実習することで、卒前の地域医療教育と卒後臨床研修との連結効果が期待されている。

長崎大学離島実習の概要

医学部 1~3年生

【地域医療セミナー(医学ゼミ・必修選択)】 **2泊3日**

医学ゼミのコースの一つ。多職種連携をテーマとした地域との早期の関わり合いを提供する(長崎純心大学と共修・学外からの参加も募集)

実施場所:五島市

医学科 4,5年生・保健学科 4年生・歯学部 5,6年生・薬学部 6年生

【離島医療・総合診療・保健実習(臨床実習・必修)】 **1週間**

医療・保健・福祉から編成されたコースの中で、医歯薬3学部4学科の学生が多職種連携の中で共修を行う。

実施場所:五島市・新上五島町・杵岐市・対馬市・小値賀町

医学部 6年生

【離島実習(高次臨床実習・選択必修)】 **4週間**

離島地区中核病院において、診療参加型の臨床実習を行う。

実施場所:五島中央病院・上五島病院・対馬病院

長崎大学医歯薬学総合研究科 離島・へき地医療学講座
離島医療研究所提供

離島医療・保健実習 医学部・歯学部・薬学部の総合実習の体系

コース	グループ	6月27日	6月28日	6月29日	6月30日	7月1日
対馬	医学部	対馬病院	あすか訪問看護ステーション	(午前)豊玉診療所 (午後)特別養護老人ホームわたづみ	対馬市社会福祉協議会	対馬保健所
	保健学科	杵岐病院	杵岐市健康保健課 杵岐市地域包括支援センター	(午前)杵岐保健所 (午後)訪問診療 (午前)杵岐保健所 (午後)在宅ケア総合支援センター (午前)杵岐保健所 (午後)訪問診療	在宅ケア総合支援センター 三島診療所/原島診療所	(午前)介護老人保健施設 光風 (午後)杵岐病院
上五島	医学部	(午前)訪問看護ステーション (午後)上五島病院	新上五島町社会福祉協議会	(午前)つくしの里 (午後)新上五島町健康保険課	(午前)上五島病院外来 (午後)小値賀診療所	小値賀診療所
	薬学部	有川医療センター			あおかた調剤薬局 鈴木薬局	(午前)訪問看護ステーション (午後)上五島病院
下五島	医学部	五島中央病院(内科)	みどりが丘クリニック	五島中央病院(小児科) (3歳児健診)	奈留医療センター	(午前)五島保健所 (午後)離島医療研究所
	保健学科	五島市社会福祉協議会 富江支所	五島中央病院(内科)	玉之浦診療所	動脈硬化健診(奈留開発センター)	
	歯学部	五島市社会福祉協議会 テイはまゆう	聖マリア病院	動脈硬化健診 (奈留保健センター)	訪問看護ステーションあぶんげ	
	歯学部	只狎荘	岐宿歯科診療所 近藤歯科医院	五島中央病院(リハビリ室)	こまき歯科医院 横山歯科医院	
	薬学部	ニック調剤薬局 ごとう店 あおぞら薬局	五島市長寿介護課 五島市地域包括支援センター	山内診療所	五島市社会福祉協議会 テイはまゆう	
	薬学部	只狎荘	聖マリア病院	ゆうとく薬局 福江薬局	五島市社会福祉協議会 富江支所	

医歯薬3学部4学科の共修

保健・医療・福祉の内容で構成された1週間のコース

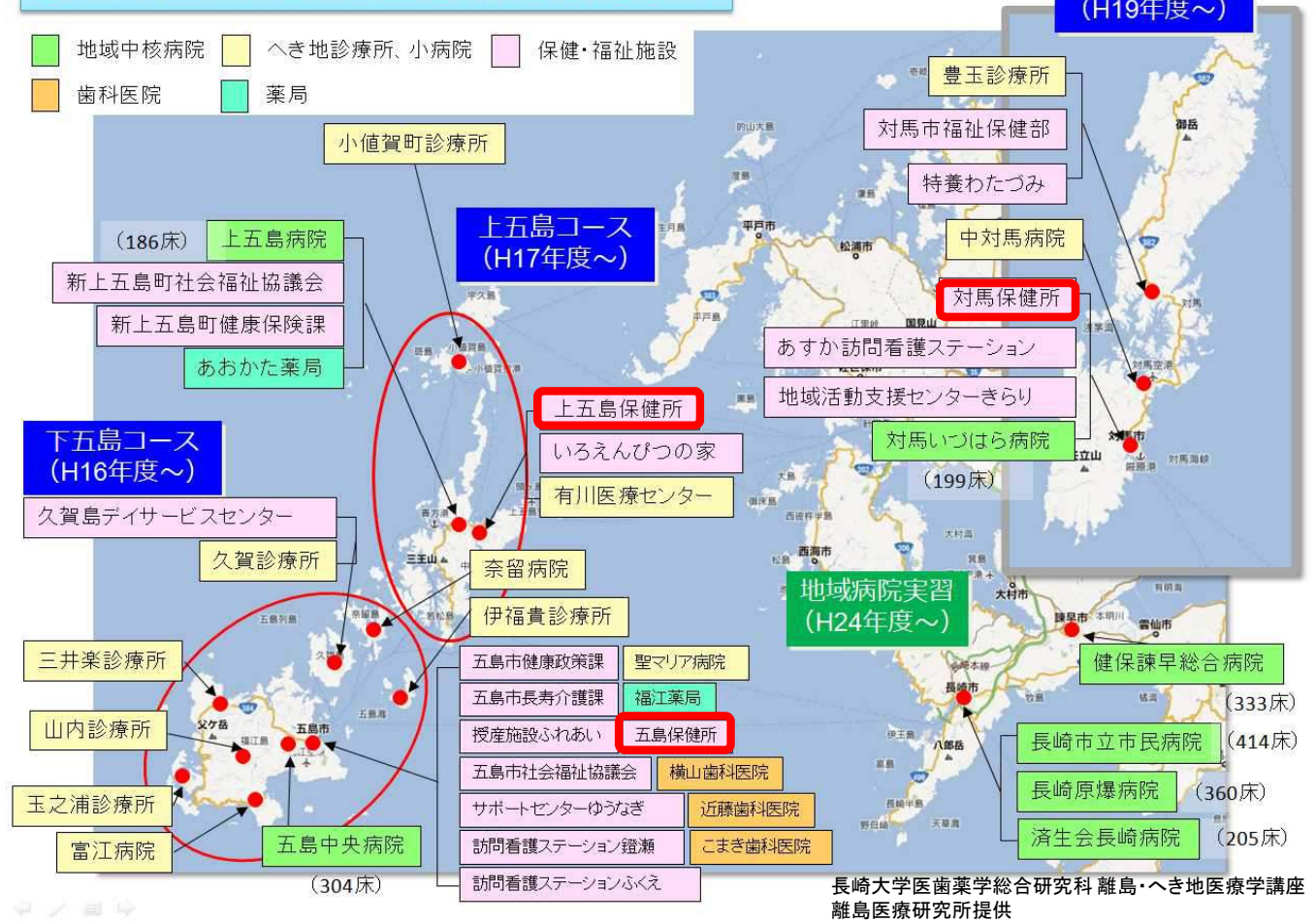
対馬・杵岐・上五島・下五島の4地区で実施

長崎大学医歯薬学総合研究科 離島・へき地医療学講座
離島医療研究所提供

長崎大学 離島医療・保健実習の実施施設

対馬コース
(H19年度～)

- 地域中核病院
- へき地診療所、小病院
- 保健・福祉施設
- 歯科医院
- 薬局



長崎大学医歯薬学総合研究科 離島・へき地医療学講座
離島医療研究所提供

離島医療・保健実習の目的・目標

【目的】

離島地区においては、地域に密着した保健・医療・福祉の連携体制が構築されており、地域保健、地域医療を学ぶうえで最適のモデルと言えます。本実習では、多職種連携による地域包括ケアの現場を体験し、離島地区の現状を社会的・文化的・地理的な背景なども含め幅広く理解することを目的とします。

【一般的目標】

- 1) 地域住民の健康や疾病と生活環境との関わりを理解し、健康に関わる問題を解決する考え方の基本を身に付ける。
- 2) 地域医療・地域保健実践の場で必要とされる知識、情報収集方法、マネジメント法についての基礎を身に付ける。
- 3) 保健・医療・福祉の役割を把握し、相互の連携についての理解を深める。
- 4) 地域住民の心理・社会的背景を正確に理解し、全人的医療実践の基本を身に付ける。
- 5) 地域保健・医療の役割を理解し、積極的な自己学習の基盤となる態度を身に付ける。

保健所実習では、臨床医に知っておいてほしい地域保健の基礎、保健行政の役割についてコンパクトに説明する。

保健実習の一例

時間	内容	対応者
9:00~9:05	オリエンテーション	研修担当
9:05~10:30	保健所の役割について	所長
10:40~11:20	対人保健業務について	企画保健課長(保健師)
11:20~12:00	対物保健業務について	衛生環境課長
12:00~13:00	昼休み	
13:00~15:30	所外実習	各事業担当者
16:00~16:30	意見交換	所長、研修担当、事業担当

行政医師についての説明

- ・学生には、“行政医師”というジャンルの存在すらも知られていないことが多い。
- ・公衆衛生行政医師として働いて感じた面白さや、奥深さを伝える。
- ・臨床の現場で働く中で、行政も良きパートナーとなることを覚えておいてほしいとアピール。
- ・臨床経験を積んだ上で行政医師になると、現場の経験が活かせることをさりげなく宣伝。
- ・全ての自治体に行政医師の活躍の場があることを説明。
- ・パンフレットを活用。



県立保健所における実習受入れ実績

上段:実習人数
下段:実習日数

長崎大学 離島医療・総合診療・保健実習 保健所実習実績

HC	年度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
五島	医学部	84	74	48	66	72	52	65	59	48	55	56	66	47	63	57	
	医学科	24	13	13	14	15	14	15	15	16	17	17	18	16	18	18	
	歯学部						37	53	46	48	44	27	52	32	47	43	
	薬学部					40	45	2	4	11	20	19	16	12	7	3	3
						10	11	2	2	3	5	5	4	3	2	2	1
	医学部 保健学科													10	6	3	3
													5	2	1	1	
上五島	医学部		?	?	28	28	30	30	28	27	28						
	医学科		?	?	14	14	15	15	15	14	14						
	薬学部				40	40	3	0	10	10	8						
				10	10	2	0	3	5	4							
対馬	医学部				8	8	6	6	10	12	12	12	12	2	6	2	
	医学科				4	4	3	4	5	6	6	6	6	1	3	1	
杵岐	医学部												6	4	6	6	
	医学科												3	2	3	3	
	医学部 保健学科												4	0	4	0	
													2	0	2	0	

他大学 離島実習 保健所実習実績(五島保健所のみ)

HC	年度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
五島	医学部												0	5	9	11
													0	4	4	4

長崎大学医歯薬学総合研究科 離島・へき地医療学講座
離島医療研究所提供

保健所実習後の感想

- ・今回は衛生環境課事業の採水に同伴しました。今後医療者として働くうえで、**保健所の役割**をきちんと理解しておく必要があると感じました。
- ・環境面、衛生面の視点から人々の健康にかかわるといふことの重要性も感じる事ができました。

将来の進路の選択肢に『行政医師』を入れておきたいと話してくれる学生もいます

- ・**公衆衛生医**と臨床医の考え方の違い、また臨床医にも公衆衛生の考え方が必要であると知った。地域の現状として、**住民の健康意識が足りないこと**、**医療資源が不足していること**、**非常に広くて移動が不便**であることなどを知った。

- ・対象者の家を訪れ、病状の進行具合はどうであるか、**経済的には問題はないのか**について耳を傾け、また**社会福祉サービスの提案**をした。**訪問時間は約40分に及び**、**対象者に親身になって寄り添う姿が印象的**であった。

長崎大学医歯薬学総合研究科 離島・へき地医療学講座
離島医療研究所提供

地域活動支援センター実習後の感想

・利用者の方々と一緒に調理実習と、清掃活動に参加させていただきました。それぞれの疾患の重症度により、利用者の能力に差があったが、**それぞれのできることを活かし、役割分担を行い、活動していた**。このような活動を行っている施設があることを今まで知らなかった

・設立当初は周辺の住民の方々からの反発もあったという話がありました。テレビの影響や今までの考え方などの影響で**精神障害者の皆さんに対する様々な偏見**が存在することも実際あったのだと、その話を伺って実感しました。今後、医療の現場で働いていくことになる私たちが**精神障害者の皆様のことをきちんと理解をして、一般の皆様の間違った知識を伝えることがないようにしなければならぬ**と感じました。

・地域活動支援センターの役割は、在宅の障害者が地域の中で、活動の場、交流の場、福祉的就労の場などを提供し、**障害者の社会参加と自立の支援**を図ることだと学んだ。

長崎大学医歯薬学総合研究科 離島・へき地医療学講座
離島医療研究所提供

特別養護老人ホーム実習後の感想

・入浴介助の体験をさせてもらったが、予想以上に体力を使った。認知機能が落ちている利用者を担当したからか、無愛想な印象を受けたが、後でさっぱりして気持ちよさそうにテレビを見ている姿を見ると、よかったと思った。**介護のさらなるニーズの増加、介護職の不足**というのが心配になった。

・初めて特別養護老人ホームで実習という形をとりましたので非常に新鮮な実習となりました。**特浴介助**の手伝いでは、特別養護老人ホームで働いているスタッフのみなさんの苦労の一部分を実際に自分の体で経験をさせていただきました。麻痺を患っている利用者や関節に拘縮が出ている利用者に対して服を着せる介助は初めてでしたので、スタッフの皆さんに教えていただきながら**実際に行わせていただきました**。車いすから入浴台への移動や着替え台から車いすへの移動など非常に力が入る場面が多く非常に**重労働**なのだと感じた。
・服を着せることに一生懸命になっていたために、利用者さんと介助をしながら**コミュニケーション**をとることがほとんどできなかったのは心残りになっています。

長崎大学医歯薬学総合研究科 離島・へき地医療学講座
離島医療研究所提供

最後に

- 長崎県立保健所における医学部等学生実習は、長崎大学との連携によって進められてきた。
 - 離島医療・保健実習の終了後アンケートでは、離島医療への興味や離島での従事意欲の向上がみられている。
 - 保健所での実習を通して、公衆衛生行政に興味を持ち、将来的に行政医師となる人材も期待できる。
 - 本県だけでなく、国内のどこかで行政医師として活躍してくれる人材の発掘につながることを願いながら、これからも実習に臨んでいきたい。
-